

予備自衛官等制度カレンダー写真展開催

埼玉地本（本部長・山野一等空佐）は12月3日と4日の二日間、大宮駐屯地において、予備自衛官等制度カレンダー写真展を開催した。

この写真展は、東部方面総監部の協力を得て、予備自衛官募集ポスターモデルを起用した二〇一九年のカレンダーの撮影風景を展示したもの。他にも西日本豪雨災害及び北海道胆振東部地震における即応予備自衛官の活動状況や、観閲式に参加した予備自衛官、大宮駐屯地OBである即応予備自衛官の近況を紹介するパネルも展示した。訪れた隊員は、かつて訓練を共にした仲間を見つけて懐かしがったり、災害等招集の場で献身的に活躍する姿に熱心に見入っていた。また、会場には地本の予備自衛官担当者による予備自衛官なんでも相談コーナーも設置し、集合教育とは違ったリラックスした雰囲気の中、隊員達の質問に応じていた。

埼玉地本は、予備自衛官等のイメージアップを通じ、自発的に志願する雰囲気醸成していき、予備自衛官等の充足向上を図っていく。



予備自衛官等制度カレンダー写真展開催

即自雇用企業主等が招集訓練を研修

埼玉地本（本部長・山野一等空佐）は平成三十年十二月十四日から十五日の間、第三十一普通科連隊が実施した即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修に、即応予備自衛官の雇用企業二社の二名を御案内した。この研修は、即応予備自衛官の招集訓練を通じ、即応予備自衛官制度の更なる理解を促進し、また、部隊と即応予備自衛官雇用企業との信頼関係を深めることを目的に計画されたもの。

参加者は、駒門駐屯地資料館研修、戦車体験搭乗そして迫撃砲射撃訓練見学を通じ、普段の勤務とは違った自衛官としての訓練に臨む自衛官の真摯な姿を目の当たりにし、訓練参加の重要さを実感していた。また、戦車体験搭乗では、迫力に圧倒され歓声を上げていた。

埼玉地本では、即応予備自衛官雇用企業に対し、様々な企画等を通じて、制度の普及拡大に努めてゆきたい。



迫撃砲射撃



迫撃砲弾着地確認